

第4節 女性青少年課

〔総括概要〕

男女がお互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置づけられており、今日の少子・高齢化の進展や国内経済の成熟化などの社会経済情勢の急速な変化に対応する上でも重要な課題となっている。

このような状況の中、本市では平成22年6月に、男女共同参画に関する施策の推進について総合的かつ計画的に取り組むための市内推進体制の整備を図るため、栃木市男女共同参画推進本部設置要綱を制定した。

そして、男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民、事業者及び教育関係者が一体となって男女共同参画の推進に取り組む法的整備を図るため「栃木市男女共同参画推進条例」の制定に向け、男女共同参画推進条例検討委員会の開催や、パブリックコメントの実施を経て、平成23年3月条例制定した。

また、今後策定を予定している男女共同参画プランの基礎資料とするため、男女共同参画に関する市民意識調査を平成22年10月に実施した。

男女共同参画社会の実現の意識づくりを図るために、男女共同参画のつどいの開催、男女共同参画週間啓発のための街頭啓発、ミニ市民のつどいの開催、出前講座の実施、男女共生大学の開設、女性団体の育成支援などを行った。

働く婦人の家については、市内に居住または市内事業所に勤務する女性等を対象に、就労支援としてワード応用講座やエクセル入門講座、スキルアップとして暮らしの金融講座、エコ手芸講座、レカンフラワー講座を開講して福祉の増進に努めた。

青少年行政については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成・指導や青少年健全育成講演会、非行防止懇談会、家庭の日推進事業、模範児童・生徒の表彰などを行った。

青少年育成センターについては、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動などを重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会、教育委員会などの関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

勤労青少年ホームについては、平成18年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・書道等の教養講座、テニス・バドミントン・エアロビクス等のスポーツ講座を開催した。また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

勤労者体育センターについても、勤労青少年ホーム同様に民間委託し、勤労者をはじめとした一般市民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るための施設として、その有効利用に努めた。

男女共同参画推進担当

- 1 男女共同参画行政推進状況調査（各種委員会等への女性・若者委員構成状況調査）
男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の審議会等への参画状況の調査を実施し、参画の拡大を図った。

2 男女共同参画推進条例の制定

- (1) 男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取
 - ・内 容 条例素案について
 - ・募集期間 平成22年7月30日～8月20日
 - ・意見提出者 7人（24件）
- (2) 女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループからの意見聴取
 - ・内 容 条例素案について
 - ・募集期間 平成22年7月30日～8月27日
 - ・意見提出者 2団体（13件）
- (3) 男女共同参画推進条例検討委員会の開催

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
22.10.6	市民会館	・条例制定のスケジュール（案）について ・栃木市男女共同参画推進条例（素案）について	12
22.12.21	市民会館	・栃木市男女共同参画推進条例（案）について	8

- (4) 栃木市男女共同参画推進条例（案）に関するパブリックコメントの実施
 - ・募集期間 平成22年10月25日～11月25日
 - ・意見提出者 2人（9件のうち2件は同様の意見）

3 男女共同参画に関する市民意識調査の実施

- (1) 男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取
 - ・内 容 市民意識調査票（素案）について
 - ・募集期間 平成22年7月30日～8月20日
 - ・意見提出者 15人（38件）
- (2) 女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループからの意見聴取
 - ・内 容 市民意識調査票（素案）について
 - ・募集期間 平成22年7月30日～8月
 - ・意見提出者 2団体（5件）
- (3) 調査の設計
 - ・調査地域 市内全域
 - ・調査方法 郵送配付・郵送回収
 - ・調査期間 平成22年10月15日（金）～11月8日（月）
 - ・調査対象 平成22年8月1日現在の栃木市在住の満20歳以上男女
 - ・抽出方法 住民基本台帳に基づく性別・年代別無作為抽出法
 - ・標本数 2,000人（男女各1,000人）

内訳

(単位：人)

	栃木市地域	大平町地域	藤岡町地域	都賀町地域	計
男性	550	200	125	125	1,000
女性	550	200	125	125	1,000
計	1,100	400	250	250	2,000

(4) 回収結果

- ・回収数 819人
- ・回収率 41%

4 年次報告書の作成

旧栃木市で制定されていた男女共同参画推進条例に基づき、旧栃木市における男女共同参画に関する施策の平成21年度の実施状況について、年次報告書を作成した。

5 男女共同参画啓発事業

(1) 男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展、広報紙に記事の掲載等を行った。

- ・実施日 平成22年6月23日～29日
- ・会場 市役所ロビー、市民会館ロビー
- ・内容 男女共同参画週間パネル展示
リーフレット配布

(2) 男女共同参画地域推進員の活動

ア 「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
22.10.12	箱森中央公民館 新栃木コミュニティ会館	箱森中央ミニ市民のつどい ビデオフォーラム「気づくことがはじめての一步」	32
22.10.23	箱森西部公民館	箱森西部自治会ミニ市民のつどい ビデオフォーラム「気づくことがはじめての一步」	57
22.11.20	柳橋公民館	柳橋自治会ミニ市民のつどい ビデオフォーラム「気づくことがはじめての一步」	21

イ 自主研修会の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
22.6.27	視察研修に向かう車中	ビデオフォーラム 「人権に向き合うための6つの素材」	10

ウ 男女共同参画社会構築のための啓発物資の配布

実施日	会場	内容	参加人員(人)
22.6.23	ヤオハンNEW西店 福田屋百貨店栃木店 ジャスコ栃木店 ベイシア大平モール店 フジマート都賀店	啓発物資の配布	24

エ 視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、財団法人とちぎ男女共同参画財団主催のとちぎ県民のつどいに参加した。

- ・実施日 平成22年6月27日
- ・会場 とちぎ男女共同参画センター
- ・内容 ワークショップ
記念式典
講演 「夢に向かって、落語に生きる」
講師 露の都氏（日本で第一号の女性落語家）
- ・参加人員 13人

(3) 男女共同参画のつどい開催

男女共同参画社会づくりを目指し、男女共同参画のつどいを開催した。

- ・実施日 平成22年6月19日
- ・会場 大平文化会館
- ・内容 第1部 記念式典、男女共同参画標語入選者表彰
第2部 寸劇とおしゃべりティータイム
テーマ 「DVってなあに？」
コーディネーター 中村明美氏（ウィメンズハウスとちぎ代表）
- ・参加人員 110人

(4) 男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

市内の小学校5年生を対象に「男女共同参画」に関する標語の募集を行い、総数485点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作12点を決定した。（記念式典にて表彰）

(5) 男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビでの広報を行った。

6 栃木県次世代人材づくり事業への派遣

国際的視野を持ち、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び、女性のエンパワーメントの向上を目指した地域活動の推進役となる女性リーダーを育成するために県が行っている次世代人材づくり事業への参加について、3人の応募があり、選考委員会で選考された2人を派遣した。

- ・期間 平成22年10月7日～13日（7日間）
- ・派遣先 フランス共和国（パリ・ヴォークリューズ県）

7 日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

- ・期間 平成22年10月1日～3日（3日間）

- ・開催地 京都府京都市
- ・参加者数 8人

8 男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きらら（創刊号）」を、男女共同参画地域推進員の協力により編集、発行した。

- ・発行日 平成23年3月(市内全世帯に配付)

9 男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

- ・受講者数 76人

(1) 学習プログラム

回	日時	学 習 テ ー マ	講 師	会 場	参加者数 (人)
1	22. 6. 24 18:30 ~20:30	開講式 講話 「地域をもっと楽しむ!大切にしようコミュニケーショのヒント」	リ ラーニング代表 秦野 玲子氏	市民会館 講堂	51
2	22. 7. 10 14:00~ 15:30	家庭教育学級との共催による公開講座 講話 「子供の人とかかわる力がどのように発達していくか~人とかかわりたいと思う子供を育てるために」	白鷗大学教育学部 専任講師 福田 真奈氏	栃木文化 会館 小ホール	38
3	22. 7. 22 18:30~ 20:30	講話 「ビデオでおしゃべり『ホーム・スイートホーム』から見るリテラシー」	男女共同参画 自主活動グループ ぐるーぷ・もみの木	市民会館 講堂	38
4	22. 8. 5 18:00~ 21:00	体験学習 「楽しくソバ打ちをやってみよう」	手打ち蕎麦道場講師 黒須 祐子氏	市民会館 調理室	31
5	22. 8. 19 18:30~ 20:30	講演(寸劇) 「ある夫婦」 しゃべり場	男女共同参画 啓発活動グループ あしたばの会	市民会館 講堂	41
6	22. 9. 2 18:30~ 20:30	はつらつ健康教室 「自分の体を知る~錆びない体と心づくり~」	健康運動指導士 原 美穂子氏	市民会館 講堂	35
7	22. 9. 16 18:30~ 20:30	講話 「介護現場からの学び“支えあうということ”」 閉講式	ケアマネージャー 伊藤 典子氏	市民会館 講堂	45

(2) 運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参画社会の実現に向けた人材育成を図った。

- ・運営ボランティア 10人

ア 活動の内容

当日の運営、記録集・広報紙の編集、学習プログラムの作成、その他

イ 運営委員会の開催

年 3 回 運営ボランティア活動内容の検討ほか

10 出前講座の実施

- ・実施日 平成 22 年 5 月 11 日
- ・会 場 市民会館
- ・内 容 栃木県女性教育推進連絡協議会栃木支部 路の会 人権講話
「みんな いきいき 輝いて・・・男女共同参画社会の実現を目指して」
講師 市男女共同参画推進指導員
- ・参加人員 24 人

11 女性団体活動支援

(1) 栃木市女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
22. 5. 26	市民会館	定期総会 研修会「交通安全教室」～自転車の乗り方を中心に～	7 1
22. 6. 8	群馬県みどり市 富弘美術館他	視察研修会 富弘美術館 カリカリ梅赤城フーズ他	3 9
22. 7. 6	市民会館	第 1 回栃木市女性団体連絡協議会 正副会長顔合わせ会	1 0
22. 8. 18	栃木文化会館	研修会「サマーコンサート パートⅡ」	2 1 0
22. 11. 24	市民会館	行政相談懇談会	1 7
23. 2. 19	市民会館	2011 とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ 1 5 0 0
23. 2. 25	大平公民館	第 2 回栃木市各地域女性団体連絡協議会 正副会長会議	9

(2) 自主学習グループへの活動支援

ア 支援対象グループ

とちぎつばさの会栃木支部、ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、あいの会、
パールの会

イ 支援内容

会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、グループの活動に対する指導・
助言等

12 働く婦人の家活動状況

(1) 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	1 0 0	0 . 8
自主グループ	6 , 5 7 3	5 2 . 1
他 団 体	5 , 9 5 2	4 7 . 1
計	1 2 , 6 2 5	1 0 0 . 0

(2) 活動区分

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	4,722	37.4
勤労者家庭婦人	6,236	49.4
その他	1,667	13.2
計	12,625	100.0

(3) 月別活動状況

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	1,043	1,219	1,185	1,366	822	1,218	1,073	1,073	970	852	1,052	752

(4) 曜日別活動状況

(単位:人)

曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
人数	2,147	4,118	982	2,035	2,675	640	28

(5) 年齢別活動状況

(単位:人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	125	200	133	3,393	8,774

(6) 事業実施状況

ア 主催講座

講座名	レカンフラワー講座	暮らしの金融	エコ手芸講座	エクセル講座	ワード応用 ハガキ作成講座	計
回数(回)	1	2	1	6	2	12
延べ人数(人)	13	24	18	39	5	99

イ 相談事業

平成19年度より市民相談(DV関係についてはDV担当相談員)に統合。

・実施日 月曜日～金曜日(9時～16時)

ウ 自主グループ等

区分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備考
書道	50	384	2グループ
太極拳	39	572	
ヨーガ	39	225	
卓球(ラージ)	130	1,604	3グループ
押し花	23	106	
茶道	48	341	
フラダンス	27	259	2グループ
リズム体操	40	2,746	
老人介護(1)	33	192	特別養護老人ホームで活動
老人介護(2)	33	144	〃
計	462	6,573	

エ その他

区 分	人数(人)	備 考
団 体 利 用	5, 9 4 2	消費生活センター利用等
図 書 利 用	1 0	
計	5, 9 5 2	

青少年担当

1 青少年行政関係

(1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア とちぎユースネットワークの活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
22.4~23.3	栃木市栃木勤労青少年ホーム	毎月2回 定例会開催	延べ144
22.7.10	栃木市栃木勤労青少年ホーム	「灼熱の洋舞競演」参加	8
22.8.29	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	12
22.11.14	とちぎ秋まつり会場	とちぎ秋まつりJT清掃参加	7
22.12.23	市内の家庭	サンタの宅配便	11(62件)
22.12.26	栃木市栃木勤労青少年ホーム	ウイングとちぎ交流まつり	12
23.3.6	市民会館	第14回国際交流のつどい参加	13

(2) 青少年問題協議会

- ・理事・幹事会、総会の開催
- ・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
- ・「家庭の日」推進事業
- ・青少年対策(とちぎ心のルネッサンス運動の一環として、社会を明るくする運動、青少年の非行・被害防止全国強調月間、青少年健全育成強調月間の推進)
- ・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
- ・啓発(7月・11月・2月に広報とちぎによる啓発及び大型店舗前による街頭啓発キャンペーン)

2 青少年育成センター

(1) 青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

ア 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画にしたがい、年間290回、延べ830人の少年補導員が街頭補導に従事し、476人(内女子205人)の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況(栃木市全体)

区 分	補導実施状況	
	回数(回)	少年補導員(人)
昼 間	1 4 3	3 8 4
夜 間	1 4 7	4 4 6
計	2 9 0	8 3 0

イ 少年相談

毎月第2、第4金曜日は、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、45件の相談を受理し問題解決を図った。

なお、平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成22年度の相談件数は4件であった。

- ・少年相談状況(いじめ相談4件を含む)

相談者別内訳

(単位:件)

区 分 内 容	相 談 者						計
	少年本人	保護者	その他 親 族	教 師	雇 主	その他	
教育相談	4(3)	25(22)	6(1)	0(0)	0(0)	4(4)	39(30)
児童福祉相談	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
補導相談	0(0)	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	6(6)
計	4(3)	30(27)	6(1)	0(0)	0(0)	5(5)	45(36)
上記のうち電話	4(3)	28(25)	2(1)	0(0)	0(0)	5(5)	39(34)

(注)表中()内は、相談者のうち女性の数を内数で示す。

相談対象者別内訳

(単位:件)

内 容	対 象 少 年								計
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	
教育相談	4(4)	17(8)	11(4)	1(1)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	35(17)
児童福祉相談	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
補導相談	0(0)	0(0)	4(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	6(2)
計	4(4)	17(8)	15(5)	3(2)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	41(19)
上記のうち電話	0(0)	17(8)	15(5)	3(2)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	36(15)

(注1)表中()内は、相談対象者のうち女性の数を内数で示す。

(注2)この表では成人からの相談4件を除く。

ウ 有害環境浄化活動

- (ア) カラオケボックス、レンタルビデオ店、ポルノ雑誌販売店等の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入り調査

実施施設	調査数(か所)
自販機	3
ビデオ、DVD販売・レンタル	-
カラオケ、ボウリング場	-
コンビニ	1
複合カフェ	-
ゲームセンター	-
書店、古本店	-
合計	4

- (イ) 少年補導員が市内公衆電話ボックス等の有害広告物、違反広告物の排除を行った。(44枚)

エ 広報、啓発等

- (ア) 7月に第60回「社会を明るくする運動」「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を市役所等12か所に掲出し、周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

- (イ) とちぎ心のルネッサンス運動の推進

活力と美しさに満ちた21世紀の“とちぎ”創りを目指し、心豊かでたくましい青少年を地域全体で育む「とちぎ心のルネッサンス運動」を推進した。

オ 少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会場	内容
22. 5. 13	市民会館	栃木市少年補導員会総会・研修会
22. 7. 1	〃	栃木市少年補導員会・栃木市大平少年補導員会との合同研修会
22. 8. 27	茨城農芸学院(牛久市)	栃木市少年補導員会先進地視察研修
22. 11. 4	県立学悠館高校	栃木市少年補導員会・栃木市大平少年補導員会との合同研修会

カ 青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

- ・実施日 平成23年2月18日
- ・内容 平成22年度青少年育成センター運営報告
平成23年度青少年育成センター運営計画
- ・参加人員 12人

3 栃木勤労青少年ホーム利用状況

(1) 概要

・ホーム利用登録者数（単位：人）

男	1 2 4
女	2 3 5
合計	3 5 9

・ホーム利用者総数（単位：人）

男	6, 1 4 0
女	1 0, 0 1 5
合計	1 6, 1 5 5

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3
男	421	551	639	507	465	493	552	514	566	485	495	452
女	738	925	1,033	771	787	899	864	796	850	796	863	693
合計	1,159	1,476	1,672	1,278	1,252	1,392	1,416	1,310	1,416	1,281	1,358	1,145

(3) 年齢層別利用状況

(単位：人)

年齢	15～19歳	20～24歳	25歳～
男	0	3 3	6, 1 0 7
女	6	3 7 1	9, 6 3 8
合計	6	4 0 4	1 5, 7 4 5

(4) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
男	492	1,040	769	1,212	1,013	631	983
女	481	1,408	2,004	1,801	1,973	1,552	796
合計	973	2,448	2,773	3,013	2,986	2,183	1,779

(5) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動状況

ア 定期講座

講座名	定員	延べ実施回数	延べ受講者数	開催曜日
みんなの英会話	2 0	2 4	2 4 0	月
バドミントン	2 0	2 4	2 9 5	火
書道	2 0	2 7	1 5 1	火
エアロビクス	3 0	2 4	4 4 4	火
たのしい料理	1 2	2 4	2 1 6	水
ボウリング	2 0	6	4 5	水
リラックスヨガ	2 0	2 7	4 9 3	水
ソフトエアロビクス	2 5	2 4	3 8 5	木
ビギナーズテニス	2 0	1 9	1 7 7	木
レッツコーラス(合唱)	2 0	2 7	3 0 9	金
金曜エアロビクス	2 5	2 4	3 4 3	金

フラダンス	20	8	78	土
ソフトバレーボール	20	18	211	日
合 計	272	276	3,387	

イ 就職支援講座 削除

講座名	定員	延べ実施回数	延べ受講者数	開催日
就労支援講座	—	—	—	—

ウ 就職出張相談

事業概要	実施日	相談者数	延べ相談者数	内 容
就職等相談	月曜日	13人	171人	日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

エ 交流事業等

行事概要	実施日	参加人数	実施場所
灼熱の洋舞競演	22.7.10	72	青少年ホーム
ウイングとちぎ交流まつり	22.12.26	81	青少年ホーム
合 計		153	

オ クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数	活動延べ人数
バレーボール遊人会	月	51	821
スポーツパラダイス	水	51	750
ユースネット	木	64	382
バドミントン	火・日	78	788
J Cバンド	木	98	1,470
ベリーダンス	不定期	154	1,130
ブレイクダンス	土	41	246
SSO	土	44	661
街角セッション	土	12	180
ういすてりあ	日	43	486
インド古典舞踊	不定期	288	293
合 計		924	7,207

4 勤労者体育センター利用状況

(1) 利用者総数 (単位：人)

市内居住者	37,954
市外居住者	38
合 計	37,992

(2) 月別利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,440	3,345	3,527	3,382	2,554	3,082	3,295	3,229	2,854	2,960	3,046	3,240
市外	5	1	0	7	0	11	1	1	8	0	3	1
合計	3,445	3,346	3,527	3,389	2,554	3,093	3,296	3,230	2,862	2,960	3,049	3,241

(3) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
利用者数	3,655	5,361	7,337	4,830	4,980	5,736	6,093

(4) 種目別利用状況（団体利用のみ）

(単位：人)

種目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓球	その他
利用者数	3,467	1,972	9,088	12,021	10,627